

NEWS RELEASE

【富士フイルム VET システムズと東京都獣医師会】
小笠原諸島での保護猫活動 20 周年を記念したフォトコンテスト
～入賞者を発表～

2026 年 3 月 9 日

富士フイルム VET システムズ株式会社（本社：東京都三鷹市、代表取締役社長：牧野 純一）は、東京都獣医師会（所在地：東京都港区、会長：上野 弘道）が運営する保護猫事業において、保護猫の健康管理サポートを実施しています。この度、小笠原諸島での保護猫活動 20 周年を記念して実施したフォトコンテストの入賞者を発表しました。新しいご家族のもとでの「第 2 の人（にゃん）生」をテーマに、ご応募いただいた心温まる多くの写真の中から、東京都獣医師会と厳正な審査を行い、入選作品を選定しました。

【大賞】ライトちゃん



ご家族様メッセージ

「毎日ぐっすりと気持ちよさそうにお昼寝しています。すっかり安心してくれているようで、基本ヘソ天スタイルです！」

入選作品は、下記リンクよりご確認ください。

[入選作品はこちら](#)

コンテスト結果概要

- ・応募総数：85 件
- ・選考結果：大賞 3 点、入選 12 点
- ・賞品：WALLDECOR キャンパス（応募写真をプリント）

保護猫の健康管理サポートについて

小笠原諸島や御蔵島など東京都の離島には希少な海鳥たちが生息していますが、一部でその個体数が減少しています。その要因の一つとされるのは、島外から持ち込まれた猫が野生化し、海鳥などを捕食していることです^{*1*2}。これを受け、東京都獣医師会を中心に、野生化した猫の保護と動物病

院での適切な診療・健康管理の実施が行われています。猫たちが新しいご家族のもとで「第2の人（にゃん）生」を送ることができるよう支援しています。

当社は、保護猫の健康管理にあたり動物病院に対して血液検査サービスを提供しています。検査内容は生化学検査や血球計算に加え、一部感染症検査も含まれます。これにより、保護猫の健康状態を正確に把握し、ご家族が安心して迎えらるる環境を支えています。

当社は今後も、各種検査機器などの動物用医療製品の提供、受託検査、ネットワークサービスを通して動物医療の発展に尽くし、人と動物が安心して健やかに暮らせる社会に貢献していきます。

【参考文献】

※1 堀越和夫ら（2020）「小笠原諸島父島における外来ネコ対策後のアカガシラカラスバトの個体数増加」『日本鳥学会誌』69 巻 1 号 p.3-18

※2 森林総合研究所 2020 年 12 月 8 日プレスリリース

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

富士フイルム VET システムズ株式会社

TEL : 0422-26-7364